

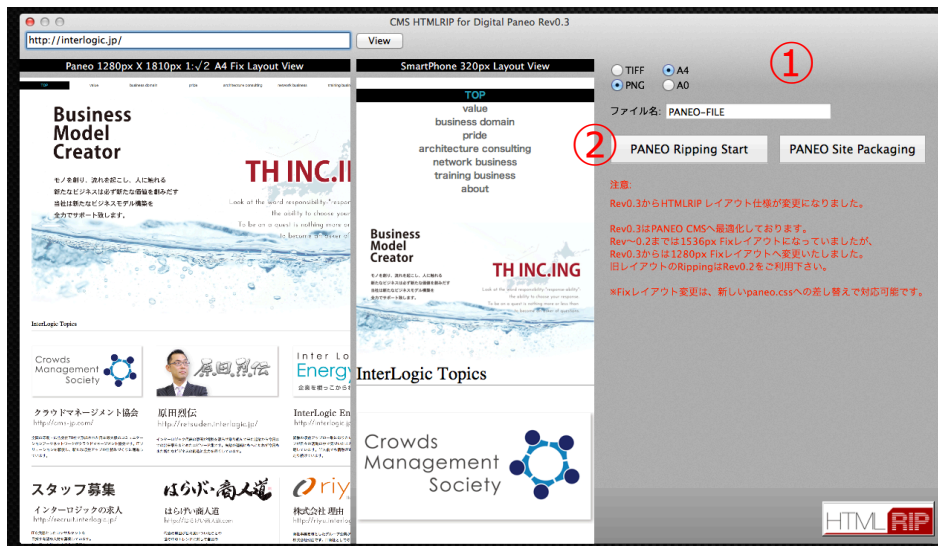
HTMLRIPのRGB-PNGのCMYK変換方法

HTMLRIPプログラムではスミ文字の部分にCMYが混ざった状態ではCMYKでの出力に対応することができません。

そちらを解決する方法といたしましては、HTMLRIPでPNG形式でRGB出力したものを調整して頂き、その後出力をかけていただくようになります。

PNG形式でRGB出力した後のCMYK変換方法を以下に記載いたしますので、ご一読いただきご参考にしていただければと思います。

1. HTMLRIPのRGB-PNGのCMYK変換方法



①・・・HTMLRIPプログラムの出力でPNG形式を選択

②・・・その後、Ripping StartをクリックしRippingデータを作成

2. HTMLRIPのRGB-PNGのCMYK変換方法

③ RippingしたファイルをPhotoshopで開いて以下の方法でCMYK変換します。

RGBデータをCMYKに変換する際、通常はCMYKの各版に分解されスミ版にCMYが分配されてしまいますので版ズレなどの原因となります。

そこで[編集] -> [カラー設定] を開きCMYKをカスタムに変更し、色分解オプションの**[墨版生成]**を**「最大」**に変更します。色分解の種類はこの場合、GCRを選択します。

※ GCRとは「グレーコンポーネントリプレースメント」の略で、グレーなどの明るい部分も含めて墨版に置き換えるという意味になります。



3. HTMLRIPのRGB-PNGのCMYK変換方法

以上のようにカスタムカラー設定を変更後、その設定を保存した状態で、

RGB -> CMYK変換を行なうとスミ版のみとなりますので、その後画像等の色調整をして頂き、出力をお願いいたします。